



2024ジェンダー平等ミーティング

ジェンダー平等ミーティング

令和6年度
若い世代からの
ジェンダー平等
推進事業

2024年12月24日(火) テーマ
「男女共同参画社会の実現に向けて
～必要なことって?～」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





12/24

男女共同参画社会 ~ 一人ひとりが幸せ感じる滋賀 の実現に向けて、
必要なこと、大切なことはなにかを考えました。

テーマ
男女共同参画社会
の実現に向けて
~必要なことって?~



「本質(なぜその取組を進めるのか)を考えることも必要では」

「否定し合うのではなく、建設的に意見を言い合える場を」・・・深い話し合いとなりました。

「男女共同参画社会の実現に向けて ～必要なことって?～」

★県民意識調査の結果や『パートナーしがプラン2025』をもとに考えました

- 共働きでなければ経済的に大変なんだろうという実感はある。
- デパートに男性のものがあまり置いていなかったりすると男女平等ではないと感じる。
- 「女性芸人」「女子サッカー」などの言葉にもモヤモヤする。
- 管理職の男女比が同じになったら何が変わるのか知りたい。
(男女比が同じ = 平等?)
- 男女共同参画社会が実現したあとも推進活動は続いていくものなのか。
- 育休の取得を推進するためには人材の確保が必要。

- 女性限定のプリクラなどもあり、どちらかといえば女性の方が優遇されているのではと思っていたが、県民意識調査の結果では男性の方が優遇されているという意見が多く、思っていたのと違うと感じた。
- 出された意見を否定するのではなく、ではどうすればよくなるのかと議論を続けることで、諸々の環境等も整っていくのではないか。
- 意見を言いやすい環境を整えることが大切。
- 誰もが育休を取りやすい環境を、上司が率先してつくるようにしていく必要があるのでは。
- このテーマ（男女共同参画社会の実現）に関心の薄い人の目にもとまるように。
- 形だけでなく本質についても考える。

- 「男性が」「女性が」ではなく、「一人ひとりが」自分らしく活躍できることにフォーカスするべきでは。
- 今の進め方でいいのか、少し立ち止まって考えることも必要。
- 男女平等になっていないとすれば、その理由をまずは探り、理解する。
- 子どもを預けられる場所を増やす、保育士の賃金を上げるなどの制度面の整備も必要。
- 男女共同参画社会の実現におけた計画や取組を、若い世代にもっと知ってもらえるようにする（ジェンダーに関する授業の充実など）。
- 管理職に就きたいと思っている人がそもそも少なそう。データを集めることも必要では。
- 男女共同参画を推進することの意義（メリット）を皆が理解できるように。

感想

- どんなに制度が整えられても人々の意識改革が伴わないと効果は限定的なものになるので、まずは一人ひとりがしっかり“知る”ことが大切だと考えることができた。
- 価値観の形成において、小さい頃の経験や周りの大人の影響はやはり大きく、教育の大切さを改めて感じた。
- 滋賀県の取組がどのように進められているのかを知ることができた。
- “平等”のあり方について、改めて考える機会となった。
- 今回考えたことを今後のミーティングにつなげていければ。